



～地域とのかけはし～



病院理念

質の高い医療を提供し、地域の皆様から信頼され親しまれる病院を目指します

病院基本方針

1. 患者さんの人権を尊重します
2. 十分な説明と同意のもと、患者さんの権利に配慮した上で最善の医療を提供します
3. 常に自己研鑽に励み、医療人としての専門知識、技術の習得に努めます
4. 地域の関係機関と連携を図り、地域医療の発展に貢献します
5. 健全で安定的な病院経営に努め、働き甲斐のある職場を目指します

きらり
医療人

院内紹介シリーズ 第10弾 ～言語聴覚士編～



話す、聞く、読む、書く、食べるのお手伝い

言語聴覚士は、ことばによるコミュニケーションに問題がある方や、ご飯が上手に食べられない方々にリハビリテーションを提供し、自分らしい生活を構築できるように支援する専門職です。

当院では主に脳卒中後の失語症や構音障害、摂食嚥下障害に対する訓練を入院患者様に実施しております。特にあらゆる原因で起こる摂食嚥下分野に関しては、リハビリテーションのニーズが高く、咀嚼や飲み込みの訓練はもちろんのこと、個々に合わせた食べやすい姿勢づくりや食事内容を検討し提供しております。また、退院時には自主訓練の作成や円滑に食事動作が進むよう各環境に合わせた食事摂取方法を提案しております。

※言葉の説明

失語症

思った言葉を話せない、話が理解できない、文字が読めない、文字を思い出せない

構音障害

呂律が回らない、声が出にくい

摂食嚥下障害

上手く噛めない、上手く飲み込めない

教えて！先生

ドクタートークルー ～佐々木賢二先生編～



令和５年度から富谷中央病院で内科医として働いている、佐々木賢二と申します。関東の病院でしばらく働いていましたが、この度地元である仙台に戻ってきました。

専門分野は循環器内科で、心臓カテーテル治療に従事してまいりました。現在、高齢の心不全患者様が増加しております。いわゆる心不全パンデミックの状態になると、急性期病院での患者様の受入れが困難となることや、莫大な医療費を費やす可能性があります。日々の外来診療を通して、予防医療と心不全を再発させないような治療を心掛けております。

浮腫みや動悸、胸部症状等がある方は是非、指名して外来に来ていただければと思います。また、健診で心拡大や不整脈の指摘がある方も、早期に受診していただけたらと思います。今後ともよろしくお願い致します。

地域医療連携室の部屋が移動になりました！

昨年末、地域医療連携室は部屋移動をしました。現在は、1階の事務室内で業務を行っております。何かご相談事(医療・福祉・療養・その他)がございましたら、受付カウンターにてお声掛け下さい。

■患者サポート室受付時間

平日:9:00~16:00

土曜:9:00~11:00

■対象者

当院をご利用の皆様



編集後記

7月24日より、パリオリンピックが開催となりました。日本との時差が6時間あるため、応援している競技によっては早起きや夜更かしになりそうですね。ちなみに、私の一押し競技は、男女バスケットボールです。日本の活躍を心より祈っています！（熊谷）



【地域医療連携室】

担当医師 渡邊 哲子

担当医師 齋藤 勉

看護師長 今泉 洋子

相談員 佐々木 澄江

相談員 茂庭 智彦

事務員 木村 恵

事務員 熊谷 令奈

【連携室直通電話番号】

022 (779) 5191 (TEL)

